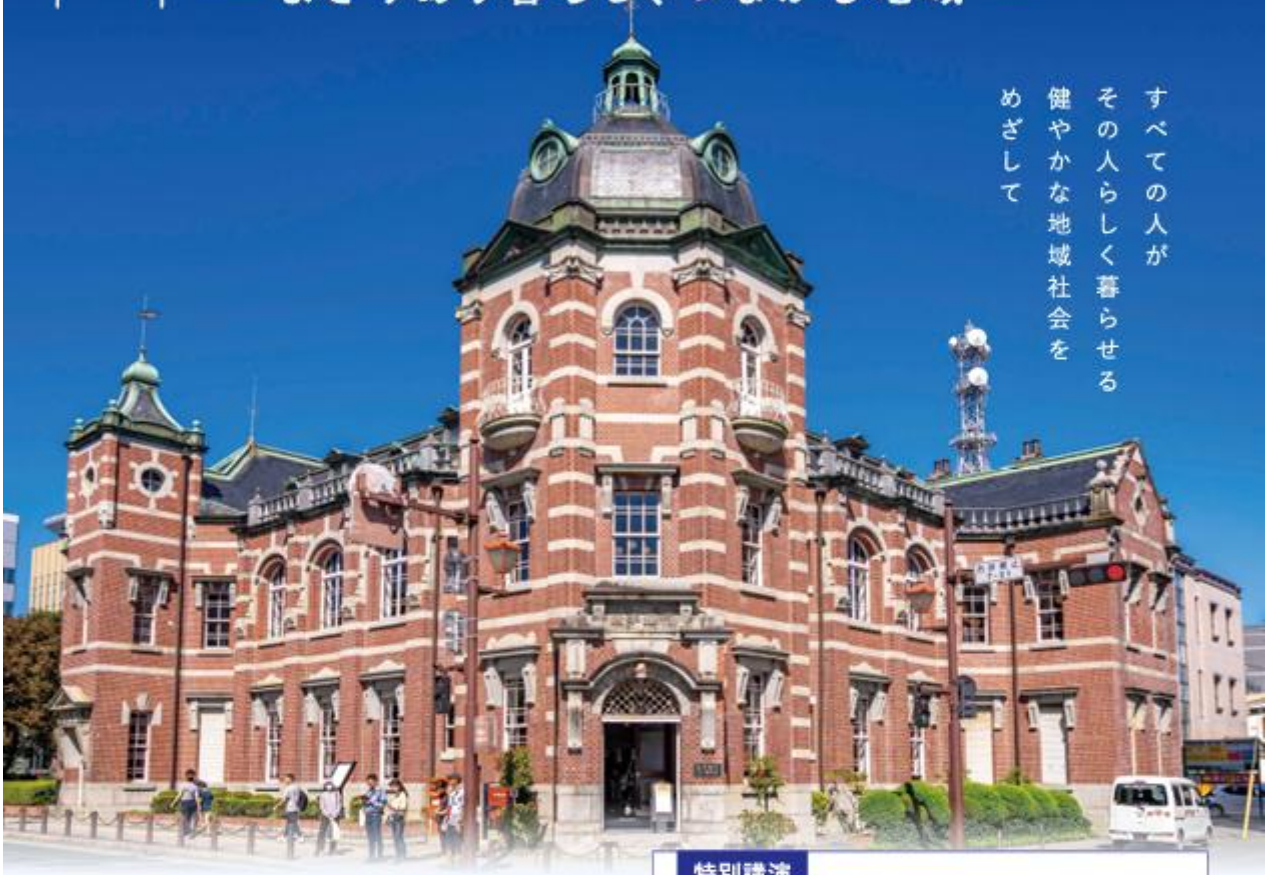
第37回

東北作業療法学会

パブリックヘルスと作業療法

―― まざりあう暮らし、つながる地域 ――

すべての人が
その人らしく暮らせる
健やかな地域社会を
めざして



会期 2027年 7月3日(土) 4日(日)

会場 キオクシア アイーナ(盛岡市)
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

学会長 高梨 信之
岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座

担当 一般社団法人 岩手県作業療法士会

特別講演

株式会社ヘラルボニー



異彩を放て。をミッションに、障害のイメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指すヘラルボニー。多様な個が輝く未来の可能性についてお話いただきます。

特別企画

災害支援シンポジウム

**能登半島地震と東日本大震災のこれまでと未来
そして災害支援の今**

運営事務局 東武トップツアーズ㈱ 盛岡支店 〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通16-21 盛岡駅前通ビル4階
TEL:050-9001-8574 FAX:019-653-2093 E-mail:sagyoryoho2027-iwate@tobutoptours.co.jp

◇ 第 37 回東北作業療法学会 演題募集要項 ◇

1. 募集期間

2026 年 12 月 4 日（金）～ 2027 年 1 月 30 日（土）

※ 募集期間内にご登録ください。

※ 演題登録時に抄録も併せて登録してください。

2. 演題応募資格

筆頭演者は、原則として東北各県の作業療法士会会員、または日本作業療法協会員とします。

3. 募集内容

一般演題：作業療法に関する事例報告、実践報告、研究報告

4. 発表形式

・発表形式は「口述発表」「ポスター発表」「口述・ポスターのいずれも可」から選択してください。

・会場運営上の都合により、ご希望の発表形式を変更させていただく場合があります。

・優秀な発表には「学会長賞」「**優秀演題賞（ポスター）**」「学会長奨励賞」を授与します。

5. 口述発表

・発表にはパソコン（Windows 版 Microsoft PowerPoint）を使用します。

・発表時間は 7 分、質疑応答は 3 分の合計 10 分とします。

・演題が採択された場合は、発表用スライドデータを事前にご提出いただきます。

・発表方法の詳細は個別にお送りするご案内メール および 学会ホームページの「座長・演者へのご案内」をご参照ください。

6. ポスター発表

・発表者は、指定の掲示寸法を確認のうえ、演題名・所属・氏名・発表内容等を記載した発表用ポスターを作成し、当日ご持参ください。

・文字サイズ、フォントの種類、図表・写真の枚数は特に定めません。

・ポスター発表は、座長および個別の発表時間を設けず、自由討論（フリーディスカッション）形式で行います。

・発表者は、指定された時間帯にポスター前で待機し、参加者との質疑応答や意見交換を行ってください。

・発表方法の詳細は、個別にお送りするご案内メール および 学会ホームページの「座長・演者へのご案内」をご参照ください。

7. 倫理的事項

（1） 対象者の同意

・「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等、該当する倫理指針を遵守し、抄録に倫理的配慮について記載してください。対象者からの同意取得、または同意に関する適切な手続きについて記載してください。

・倫理的配慮に関する記載が不十分な場合は、修正を求めることがあります。

（2）倫理的配慮と倫理審査

・研究の計画・実施・分析・演題作成の各過程で、個人の尊厳と人権を尊重し、十分な倫理的配慮を行ってください。倫理審査が必要な研究については、倫理審査委員会の承認を得た旨を記載してください。

（3） 利益相反（COI）の開示について

・発表演題に関連する利益相反（Conflict of Interest：COI）の有無および内容を申告してください。発表時にも利益相反の有無を開示してください。

（4）著作権等への配慮

・他の著作物を引用する場合は、適切な方法で出典を明示し、著作権等を侵害しないようにしてください。

（5）学会長の要請に対する協力

・学会長から倫理的配慮に関する説明や資料の提出を求める場合がありますので、その際はご協力をお願いいたします。

◇ 演題発表申し込み方法

下記の学会ホームページからお申し込みください。

https://tohoku-ot37.net/abstract.html

◇ 抄録作成要項

（1）共同演者は、筆頭演者を除き 4 名までとします。

（2）指定の抄録様式を使用してください（学会ホームページからダウンロード）。

・一般演題（口述発表・ポスター発表）の抄録本文は 1,200 字以内とします。

・フォントサイズは演題名 12 ポイント（副題は 11 ポイント）、演者名、所属、本文は 10.5 ポイントとします。フォントは日本語を MS 明朝（全角）、英数字を Century（半角）とします。

・抄録の体裁は、編集の都合により学会事務局で調整する場合があります。

（3）抄録には発表内容に応じて、目的、方法、結果、考察等の小見出しを付けてください。

・小見出しは左寄せとし、【 】で囲んで、その後で改行してください。

（4）文字化け等を防ぐため、特殊文字（記号）の使用は避け、可能な限り一般的な文字で代用してください。

・使用を避ける文字（記号）：囲み数字、ローマ数字、特殊な単位記号、省略記号 等

（5）抄録には必ず 3 つのキーワードを記入してください。

・キーワードは原則として日本作業療法士会の「作業療法キーワード集（2025 年 10 月改訂）」から選択してください。

https://www.jaot.or.jp/academic_journal/key-word/?utm_source=chatgpt.com

◇ 演題採択基準

演題は、以下の基準で審査されます。演題の採否は、査読者による審査を踏まえ、学会長および演題採択委員会の協議により決定します。

⑴ 序論：研究の背景（先行研究の成果や残されている課題）、研究の重要性や必要性が述べられているか。
⑵ 目的：研究で何を明らかにするのか、具体的な目的が述べられているか。
⑶ 方法（アプローチ）：対象と方法が具体的に述べられているか。
- 方法は研究の目的に合致しているか。
- 倫理手続きが述べられているか。

⑷ 結果（実践の意義）：データが示されているか（質的研究においてもデータの提示は必須）。統計解析を行った場合、その方法と結果は適切に示されているか。
⑸ 考察（結論）：得られた結果が論理的に説明されているか。
- 研究の重要性や問題点、社会に果たす貢献などが述べられているか。
- 考察の内容は序論や目的と整合しているか。

⑹ 研究は作業療法の発展に貢献するか。
- 研究の内容は作業療法と関連しているか。
- 作業療法の理論をより強固にしたり、実践のレベルを高めるために役立つ研究であるか。

⑺ 独自性や新規性はあるか。
- 作業療法の発展につながる独自の発想や新しい視点が示されているか。

⑻ 抄録は上記 1～5 に示した項目から構造化され、序論、目的、方法（アプローチ）、結果（実践の意義）、考察（結論）が論理的に記述されているか。
⑼ 抄録は読みやすく記述されているか。文法や文体に統一性はあるか。
- 簡潔な文章で、他者が研究の内容を理解できるよう要点が明確に記述されているか。

⑽ 人を対象とする研究（基礎研究を含む）において、個人情報の保護と倫理的な配慮がされているか。研究は当該機関の承認を受け、個人情報を保護し、対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。

【演題管理担当】
第 37 回東北作業療法学会 学術部
学術部長：細越　将太
所属：岩手県立一戸病院
【お問い合わせ先】
HP 上の連絡先よりお問い合わせください